

あけましておめでとうございます。

新年は友達と一緒に年越しそばを食べ、清々しい気持ちで新年をスタートしました！

履修登録が無事完了し、今期はAPAスタイルなどを勉強するWritingのクラス、IELPのAdvancedクラスのGrammar、宗教のクラス、2Dを学ぶ美術のクラス、コーラスのクラス、Cultural Connectionのクラス、Genki Kidsのクラスを取ることに決めました。この選択は私にとって、かなりの挑戦です。なぜかという、宗教と美術のクラスはIELPのクラスではなく学部生のクラスで、履修科目数も多いのですごく忙しくなることは確実にわかっていたからです。



だけど、今ここでしかできない勉強や挑戦をしたいと思っていたので、こうすることに決めました。

学部の授業を受け始めるまでは、留学生なんてお構いなしに進んでいくだろうし、ついていけないくらい英語も難しいと思っていたのですが、この数か月で自分の英語力が気づかないところで向上していたんだということを日々自覚しています。もちろん、まだ聞き取れない、どういう単語を言ったのかわからない、知らない言い回しをしているということは起きます。しかし、先生方がわかりやすい英語を使って話して下さったり、聞き取れなかったときは隣の席のネイティブの子にたずねるとみんな優しく教えてくれたり、本当に感謝しています。また、今期は1人日本人の友達と同じ時間割りなので、お互いに助け合い、切磋琢磨しながら日々乗り越えています。

私にとっては、宗教のクラスが1番英語の勉強に役立っているなど感じます。2週にかけて1つの宗教について学び、毎週金曜日に教科書や聖書から出る10問のクイズを解きます。日本語で学ぶ宗教も、わからない単語がたくさん出てきますよね。それと同じで、英語でもどんどん出てきます。加えて私は、日本にいるときに宗教について深く幅広く学んできたことがなかったので、難しさは倍増です。わからない単語が出てくるたびに調べて



メモを取り、文章を読んで理解し、クイズを解きます。もちろんクイズは成績に含まれるので、きちんと理解していないと悲惨なことになります。そのために、ノートを取っているのですが、このおかげで長文の英語を読むことが前よりも苦ではなくなってきたし、使える単語量も増えました。

アメリカに来てキリスト教の人にたくさん出会ったことで、世界に広がる宗教の違いに興味を持ち始めた、という好奇心がこの勉強を助けてくれているのだと思います。もし苦手な分野だったり、興味のない分野だったりしたらここまで頑張れていないと思うので好奇心は最強だなと実感しています。